

視点

新しい時代の扉を開く ～自立自尊の埼玉を創る～

埼玉県知事 上田 清司



新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに平成23年の新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

昨年は小惑星探査機「はやぶさ」が歴史的な快挙を達成しました。埼玉県も、これまでに以上に飛躍する年にしたいと思います。

この20年で日本を取り巻く状況は大きく変わりました。国内では生産年齢人口の減少が起きています。新興国の台頭により世界の経済地図は大きく塗り替えられ、日本経済は厳しい状況に置かれています。

今こそ、日本をこれからどのような国に変えていくのかという根本的な問題に正面から取り組まなくてはなりません。

「国が何とかしてくれる」ではなく「地方として、会社や団体として、そして一人の国民として何ができるのか」と自立自尊の精神で考え、行動するときが来ています。

そのキーワードは「世界」と「人材」です。

まず「世界」ですが、世界の経済は一つに向かっています。昨年開設した上海ビジネスサポートセンターなどを足がかりに県内企業が世界に進出する状況をつくり出していかなければなりません。埼玉をアジアの食料庫にするくらいの気持ちで、強い埼玉農業をつくることも重要です。

また、環境問題が世界の大きな課題になっています。埼玉版グリーンニューディールを進め、成長と環境が調和した社会の姿を示していきます。

「人材」は、日本が世界に誇る最高で最大の資源です。グローバル人材を育成するため、どこにも負けない海外留学支援など県として

できる限りの手を打っていくつもりです。

このような「未来への投資」と併せて「暮らしの安心・安全」は今まで以上に重要になります。3年間で7万人の雇用創出を目指す「雇用ニューディール」を更に進めるほか、ヤングキャリアセンターなどできめ細かい就業支援を徹底します。

「防犯パトロール」や「みどりと川の再生」、「地域支え合いの仕組み」などで大きな成果を挙げたように、県民の皆様や地域のパワーは埼玉を大きく変える力を持っています。昨年は大学生が生活保護家庭の子どもに勉強を教える活動が始まりました。こうした共助の輪を更に広げていきたいと思っています。

昨年末、本県の子育てムーブメントが高く評価され「につけい子育て支援大賞」を受賞しました。官民一体の取組による「カーナビ活用による危険箇所の解消」は全国知事会先進政策大賞に輝きました。人口当たりの職員数が全国一少なくとも、県と民間の方々が知恵を出し合うことで、1+1が3にも4にもなることを実証しました。

地域主権は日本を変える大きな力となるものです。地方が思い切った政策をどんどん実行し、その成功モデルを国に突きつけるしかありません。地方が開く一つ一つの小さな扉が日本を変えていく第一歩です。

幸いこれまで、皆様とともにどこにも負けない埼玉を築いてくることができました。こうした土台を更に強固なものにした上に、世界に羽ばたく埼玉を目指していきます。一緒に新しい時代の扉を開き、明るい未来への第一歩を踏み出しましょう。